

# 市民が語る都留市の健康 II

## 未来の父親からのメッセージ

今回は、今年八月までに父親、母親になるために、熱心に両親学級で勉強をしている夫婦で、特に未来の父親になる方々に話っています。

### ●きつかけは 妻に勧められて!!

保健婦 近頃は、核家族が増えると同時に、仕事を持つ母親が増えています。都留市においても平成六年は妊娠届出時で、夫婦だけの

世帯は五九・七%、仕事を持っている妊婦は三七・七%でした。妊娠、出産、育児が夫の協力なしではできない時代と言っています。

そこで皆さん、今回この学級に来ようと思ったきっかけは何ですか?

夫 妻にどうしても一緒に行ってほしいと言われ、いやいやながら、しかたなく来しました。妻にも勧められましたが、どういうことをしているのか、どんなことを教えてくれるのか興味があって来ました。

### ●妊娠中は妻への優しい思いやり

保健婦 妻が妊娠して、今までの生活と比べ、夫の役割はどう変わったでしょうか?

夫 ふとんの上げ降し、おふろの清掃は自分の仕事になりました。

夫 同居しています。二人とも仕事をしています。できるだけ休みの日はそばにしようと思っています。心の支えになればと…

### ●立ち合い分娩は 賛否両論?!

保健婦 それでは、これからいよいよ出産ですね。夫の立場から、この出産にどのように臨みますか。

夫 妻から立ち合ってほしいと言われました。出産する病院の母親学級にも一緒に参加して呼吸法の勉強をしていく予定です。

夫 立ち合い分娩をしようと思っています。職場の友人が体験者で話を聞いて自分も決めました。

夫 立ち合いを考えていません。仕事の都合で無理なこと、周りの体験者がいないのでわからないし、そこまで考えませんでした。医者任せようと思います。

保健婦 大切なことはご夫婦よく話し合って、親としての出発点が同じになれることではないでしょうか。

### ●さて父親像は…

保健婦 どんな父親になろうと考えていますか?

夫 自分の父親は厳しい人です。筋が通っています。私もそんな父親になりたいと思っています。夫 やさしい父親ですね。

### ●子どもたちへ 未来の希望を!!

保健婦 皆さんのお子さんは二十一世紀を担っていく大切な存在となっていくわけですが、そこで、親として、どんなことを社会や行政に期待しますか?

夫 まだ親として実感がありませんので具体的には出せません。きっと、子育てが始まると考えられると思います。

夫 子どもや母親が安心して遊べる公園が近くに欲しいですね。また、いろいろな行事が行われる文化会館や市役所の駐車場がもっと広いといいですね。

夫 高齢化社会、若者の土地離れ、環境問題、百年たつて、どのよう

な都留市になっているのかわからないが、子どもたちに未来の希望を与えて欲しい。市の方向性をわかりやすく示して欲しいと思います。

両親学級は、年五回、夫の参加しやすい土曜日または、日曜日に半日の時間で行っています。内容はビデオ鑑賞やおふろの入れ方、父親の役割についてなどです。昭和六十一年から始まったこの教室も年々参加者は増えています。

今後、皆さんのご意見を参考にさせていただきながら、内容をより充実していきたいと思っています。これからも、未来のパパは恥かしがらずに都合をつけてぜひ、参加してください。



## 休日にパパと

ある研究によれば、父親と母親では子どもとの遊びかたが違っているそうです。母親は型にはまった遊びをしがちですが、父親はからだを使った大きな遊びや、創造的な(悪くいえば、はめはずしがちな)遊びをするというのです。父親の遊びかたには、母親とはまたひと味違った領域があり、子どもの遊びを広げるというわけです。父親によく遊んでもらっている子は、行動のレパートリーと自由さが広がるのです。

### ドキドキ肩ぐるま



\*ワンポイントアドバイス  
この年齢の子どもは頭が重く身体のバランスがじゃぶじゃぶとれません。足を持って支えるのではなく、両手で両わきの下を支える。最初はひとつひとつの動作ごとに声かけ、そして不安を抱かせないようにします。